

政策対話（農政部）の概要

1 テーマ

農業の担い手確保に向けた県の施策（親元就農者支援策等）について

2 実施概要

(1) 日 時

第1回：令和5年7月12日（水）19時から21時

第2回：令和5年7月24日（月）19時から21時

第3回：令和5年8月29日（火）19時から21時

第4回：令和6年1月26日（金）13時から15時

(2) 実施手法

第1回～第3回（ZOOMによるオンライン開催）

第4回（農業大学校松代キャンパスにおいて対面開催）

(3) 参加者（視聴者）

5名（若手農業者、女性農業者、農大生等の代表）

県側：農村振興課長、農村振興課職員、農業技術課職員、農業大学校職員

3 対話での意見（概要）

区 分	意 見	意見に対する県の考え方	令和6年度当初予算への反映
農業のイメージアップ	<ul style="list-style-type: none">・ かつこいい、儲かる産業としてのPRが必要。農家の親世代が子世代に対して農業に対するネガティブイメージ（儲からない等）を持たせる傾向がある・ WEBサイトの再構築が必要（経営良好な先輩農家のインタビュー、親元就農でも活用可能な補助事業等の情報を発信強化したらどうか）	<ul style="list-style-type: none">・ 「農業の魅力発信強化事業」（R6 新規事業）により農業のイメージアップ事業を実施します。 <p><事業内容></p> <p>県HP「デジタル農活信州」に新たなコンテンツ（動画等を活用した若手農業者の事例紹介、親元就農者が活用できる補助事業や就農支援策等の紹介）を追加し、情報発信機能を強化</p>	<p>農業の魅力発信強化事業（新規事業）【2,545千円】（うち写真・映像作成 1,500千円、デジタル農活信州の機能強化 1,045千円）</p> <ul style="list-style-type: none">・ 県HP「デジタル農活信州」に新たなコンテンツを追加し、情報発信機能を強化します（若手農業者の動画等を活用した事例紹介、親元就農者が活用できる補助事業や就農支援策等の紹介）。

<p>円滑な経営継承、経営・販売（ブランディング等）力の向上</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 相談窓口やサポート体制の整備（第三者の仲介等）や情報発信の強化が必要（親世代・子世代へ） ・ 所得確保のためのブランディング、マーケティング力を勉強する場が必要 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 「農業経営者総合サポート事業」により、経営継承や経営・販売に関する支援を強化します。 <p><事業内容></p> <p>経営継承や経営・販売等に関する経営コンサルタント（中小企業診断士や税理士等）などの専門家派遣や、新たに経営継承に係るセミナーを開催</p>	<p>農業経営者総合サポート事業（事業の内容見直し）【6,391 千円】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 経営継承や経営・販売に関する経営コンサルタント（中小企業診断士や税理士等）などの専門家派遣や、新たに経営継承に係るセミナー開催を支援します。
<p>助成金等による初期段階の支援</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 就農初期段階の資金不足への支援が必要 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 「経営体育成支援事業（新規就農者補助型）」における、就農初期段階の親元就農者への支援を強化します。 <p><事業内容></p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 独立自営の新規就農者に加え、親元就農であっても就農5年以内に経営継承した者を対象に、経営発展に必要な機械や施設等の導入を支援 ・ デジタル農活信州のリニューアル等により、親元就農者への周知をさらに強化 	<p>経営体育成支援事業（新規就農者補助型）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 独立自営の新規就農者に加え、親元就農であっても就農5年以内に経営継承した者を対象に、経営発展に必要な機械や施設等の導入を支援します（国庫 1/2 + 県費 1/4 上乗せ）。【309,981 千円】（うち、102,294 千円が親元就農者での活用を想定）。 ・ デジタル農活信州のリニューアル等により、親元就農者への周知をさらに強化します。